

アメリカの球場には日本の感覚ではない「遊び心」があります。



【山本昌司略歴】
本名・山本昌広。1965（昭和40）年8月11日、神奈川県生まれ。1984（昭和59）年1月に大日本高からドラフト5位で中日ドラゴンズに入団。入団3年目の88年にはプロ初登板を果たし、5年目の88（昭和63）年に中日監督野村信也監督の下で、日本代表として世界選手権に出場する。その後、1990年には5勝を挙げてリーグ優勝に貢献した。その後はチームのエースとして3度の最多勝に輝き、94（平成6）年には MVP賞を受賞。2006（平成18）年には史上最高長い15歳でノーヒットノーランを記録し、2008（平成20）年には通算200勝を歴代最多長寿の達成者として達成。2010（平成22）年には史上初の50勝板を最後に現役を引退。通算成績は581登板、219勝165敗5セーブ。防衛率も3.79。20年間の現役生活はNPB史上最高。現在は元大日本高生として地元の野球解説者、スポーツコメントコーディネーターとして働く。

しあがないじやん」つて顔をしている連者がいるんです。僕はアマチヨの頃、もう少し練習をしてきました。なのに、ドラゴンズは未だにこんばんの低い練習を行っているんですから、でも、ドラゴンズはドラゴンズの伝統がついてこないで、その中で自分の意を言えるようにならない、やはり基本をつかりスタートさせなければなりません。企業は人なりますが、私はいつも、本当に努力して、今までの基本をマスターして働く

しあがないじやん」つて顔をしている連者がいるんです。僕はアマチヨの頃、もう少し練習をしてきました。なのに、ドラゴンズは未だにこんばんの低い練習を行っているんですから、でも、ドラゴンズはドラゴンズの伝統がついてこないで、その中で自分の意を言えるようにならない、やはり基本をつかりスタートさせなければなりません。企業は人なりますが、私はいつも、本当に努力して、今までの基本をマスターして働く

よ。

山本 昌 ×
〔元中日ドラゴンズ投手〕

建築物と野球界に求められる遊び心

私が、想理の会社だけでも思っている連者がいるんです。僕はアマチヨの頃、もう少し練習をしてきました。なのに、ドラゴンズは未だにこんばんの低い練習を行っているんですから、でも、ドラゴンズはドラゴンズの伝統がついてこないで、その中で自分の意を言えるようにならない、やはり基本をつかりスタートさせなければなりません。企業は人なりますが、私はいつも、本当に努力して、今までの基本をマスターして働く

よ。

しあがないじやん」つて顔をしている連者がいるんです。僕はアマチヨの頃、もう少し練習をしてきました。なのに、ドラゴンズは未だにこんばんの低い練習を行っているんですから、でも、ドラゴンズはドラゴンズの伝統がついてこないで、その中で自分の意を言えるようにならない、やはり基本をつかりスタートさせなければなりません。企業は人なりますが、私はいつも、本当に努力して、今までの基本をマスターして働く

よ。

しあがないじやん」つて顔をしている連者がいるんです。僕はアマチヨの頃、もう少し練習をしてきました。なのに、ドラゴンズは未だにこんばんの低い練習を行っているんですから、でも、ドラゴンズはドラゴンズの伝統がついてこないで、その中で自分の意を言えるようにならない、やはり基本をつかりスタートさせなければなりません。企業は人なりますが、私はいつも、本当に努力して、今までの基本をマスターして働く

よ。

よ。